

豊岡市総合計画「基本構想」を策定

『コウノトリ悠然と舞う ふるさと』の実現に向けて



▲豊岡市内の空を悠然と舞うコウノトリ。コウノトリをシンボルとした戦略的なまちづくりを進めます

市では、目指すべきまちの将来像とその実現に必要な施策の方向性を示し、まちづくりを総合的に進めていくため、「豊岡市総合計画」の策定作業を平成17年度から進めてきました。

このたび、平成19年度から向こう10年間のまちづくりの指針となる「基本構想」を策定しました。まちの将来像を「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」とし、豊岡の空をコウノトリが悠然と舞う姿に人々が共感し、おおらかな気持ちで暮らせるまちを目指すこととしています。

また、基本構想を実現するため、分野ごとに施策を示す「基本計画（5年）」についても策定しました。なお、具体的な事業内容、実施スケジュールを明らかにした「実施計画（3年）」については、3月末までに策定します。

《問合せ》企画課企画調整係

経過

▽12月 15、000人を対象に市民アンケートを実施



▲市民まちづくり懇談会

▽11月 総合計画審議会を設置（委員30人）
▽11月 市民まちづくり懇談会を市内11会場で開催

【平成17年度】
▽10月 庁内に総合計画企画委員会を設置

▽3月 基本計画・実施計画を策定

▽2月 臨時市議会で議決され、基本構想を策定

▽12月 12月定例市議会に基本構想を提案

▽11月 基本構想のパブリックコメントを実施

▽11月 基本構想市民説明会を市内6会場で開催

▽11月 基本構想の答申



▲総合計画審議会が基本構想を答申

【平成18年度】
▽5月 総合計画審議会に基本構想の策定について諮問
▽10月 総合計画審議会が基本構想を答申

総合計画とは？

まちづくりの方向性を 具体的に示した計画

「まちの将来像」や「まちの将来像を実現するためのテーマ」などを設定し、それを実現していくためのもので、すべての計画の基本となります。基本構想は、市議会の議決を必要とし、市が作る計画の中で最上位に位置付けられる計画です。まちづくりを計画的、具体的に進めていくことを目的とし、まちづくりの方向性を明らかにし、市民や企業などと共に力を合わせて計画に沿って実践していくものです。

「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3つから成り立っています。

【基本構想】

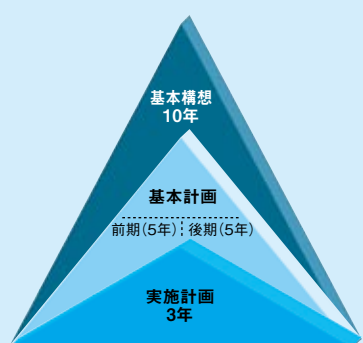
基本構想は長期的な展望や課題を踏まえ、向こう10年間の目指すべき「まちの将来像」を明らかにし、これを実現するためのテーマ・進め方・分野別の取り組み方針などを定めたものです。

【基本計画】

基本構想を受けて、その目的を達成するため、施策の具体的内容を分野別に体系化したものです。計画期間は前期、後期として5年間ごとに区切って策定します。

【実施計画】

基本計画に定められた施策を行政財政計画の中で具体化し、どのように実施していくかを明らかにした計画です。3年間の予算措置と関連付けた計画であり、毎年見直します。



計画策定の趣旨

新たな視点で住みよいまちづくりを目指す

豊岡市は、固有の歴史・文化を持ち個性あふれる6つのまちが一つになり、平成17年4月に誕生しました。

これまでの特色あるまちづくりによって成長してきた本市には、これからは持続可能な「成熟したまち」になるための施策が必要です。

また、人々の意識や価値観は「心の豊かさ」を重視するようになり、より良い環境や

安全・安心な生活を求める意識も高まりつつあります。

他方で、人口の減少や少子・高齢化、過疎化の進行によって、集落機能の低下やコミュニティの維持が困難になるという課題に直面しています。

このようなまちの現状と課題、市民の意識変化を的確に認識した上で、新たな視点に立ち、住みよいまちを創るための指針として、豊岡市総合計画を策定します。

市民、団体、企業、行政が一体のまちづくり

この計画では、市民、団体、企業、行政をはじめ、まちに関わる人々を「私たち」と表現し、共にまちづくりに取り

組むことにしています。

また、まちに住み（定住人口）、訪れるすべての人（交流人口）を「まちづくり人口」として捉え、お互いが交流し、高め合いながら活力ある未来を拓くまちづくりを進めることを明記しています。



▲約1千人の市民スタッフによって運営される神鍋高原マラソンは市を代表する交流イベントの一つ

基本姿勢

まず、基本構想では、まちづくりに臨む基本姿勢として次の3点を挙げています。

自然に抱かれて生きる

私たちのまちには、変わらぬ姿の山々や恵みの田畑、おだやかで、ときとして荒れ狂う川と海、そして、刻々と表情を変える空があります。人もまた自然界の一員であり、私たちは、この豊かな自然に抱かれ、自然と折り合いながら生きるまちづくりを進めます。

いまを大切に、日々の暮らしを楽しむ

私たちは、限られた命をえて、いまここに生きています。悠久の時の流れを感じつつ、私たちはかけがえのないいまを大切に、お互いを認め合いながら、日々の暮らしを楽しみまちづくりを進めます。

未来への責任を果たす

私たちのまちがいまあるのは、過去における未来に向けた努力のおかげです。先人の脈々とした営みに感謝し、私たちはまた受け継いだ財産をより良い姿に創造し、次代に引き継ぐという未来への責任を果たすまちづくりを進めます。